

会 議 録

会議の名称	令和4年度第1回川越市医療問題協議会
開催日時	令和4年5月18日(水) 14時00分 開会 ・16時35分 閉会
開催場所	市役所本庁舎7階 第1・第5委員会室
議長(委員長・会長)氏名	藤田龍一委員
出席者(委員)氏名(人数)	藤田龍一委員、増田俊和委員、中野文夫委員、天野勉委員、堤晴彦委員、吉田幸子委員、近内晴美委員、長峰す美子委員、栗原瑞治委員、柿田有一委員、小ノ澤哲也委員、矢部節委員、齋藤匡央委員(13名)
欠席者(委員)氏名(人数)	得丸幸夫委員、小室万里委員、廣澤光昭委員、高田栄子委員、米谷美奈子委員、船津和信委員(6名)
事務局職員等職・氏名	渡邊靖雄保健医療部長、野口暁則保健医療部副部長兼保健医療推進課長、丸山浩保健所長、若林昭彦保健所副所長、中島仁保健医療部参事兼保健総務課長、波田野泰弘保健医療部参事兼保健予防課長、小野寺雅樹国民健康保険課長、山口淳高齡・障害医療課副課長、比留間雅彦新型コロナウイルスワクチン接種対策室長、武田泰幸食品・環境衛生課長、島田純一衛生検査課長、伊藤純健康管理課長、後藤知美健康づくり支援課長、岩田裕美保健医療推進課副課長、三島菜波保健医療推進課主査、阿部真哉保健医療推進課主査、矢島健太保健医療推進課主事
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 部長あいさつ 3 委員紹介 4 職員紹介 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会長・副会長の選出 (2) 第二次川越市保健医療計画の評価について (3) 第三次川越市保健医療計画について <ol style="list-style-type: none"> ① 第三次川越市保健医療計画策定方針及び今後のスケジュールについて ② 第1章～第4章 ③ 第5章 施策の推進 ④ 第6章 計画の推進体制と進行管理 ⑤ 資料編 (4) 新型コロナウイルス感染症に係る川越市の状況について (5) その他 6 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度第1回川越市医療問題協議会次第 ・ 川越市医療問題協議会委員名簿 ・ 川越市医療問題協議会条例 ・ 資料1 新型コロナウイルス感染症に係る川越市の状況について ・ 資料2 第二次川越市保健医療計画の評価について ・ 第二次川越市保健医療計画 平成28年度～32年度 概要版 ・ 資料3 第三次川越市保健医療計画策定方針

- ・資料4 スケジュール案
- ・資料5 第三次川越市保健医療計画の概要
- ・資料6 第三次川越市保健医療計画（素案）
- ・資料7 医療問題協議会において第三次計画（第1～4章）に対してこれまでにいただいた御意見及び市の対応・考え方
- ・資料8 第三次川越市保健医療計画進行管理イメージ
- ・参考1 第三次川越市保健医療計画 施策・予算クロス表
- ・参考2 施策を構成する事務事業
- ・座席表
- ・修正表

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料確認 ・傍聴者確認 → 傍聴希望者なし ・医療問題協議会の説明 <p>2 部長あいさつ</p> <p>3 委員紹介</p> <p>4 職員紹介</p> <p>5 議事</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・過半数の委員出席による会議の成立を報告
事務局	<p>(1) 会長・副会長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮議長は、慣例により年長者にお願いしており、矢部委員に仮議長をお願いすることとしてよろしいか。 →異議なし <仮議長の選出>
仮議長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・会長及び副会長の選出方法について、意見はあるか。 ・指名推薦ではどうか。 →異議なし
仮議長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の推薦はあるか。 ・藤田委員を推薦したい。 →異議なし <会長は藤田委員に決定> <p>【会長あいさつ】</p>
議長(会長) 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長の推薦はあるか。 ・市議会議員委員の協議による選出ではどうか。 →異議なし <p>【暫時休憩】</p> <p>【市議会議員委員は別室に移動】</p>
会長 委員	<p>【会議再開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議の結果を報告願いたい。 ・矢部委員を副会長に推薦したい。 →異議なし <副会長は矢部委員に決定> <p>【副会長あいさつ】</p> <p>(2) 第二次川越市保健医療計画の評価について 事務局が、資料2に基づき説明。</p>

	<p>【説明に基づく質問・意見】</p>
委員	<p>○保健所と保健センターの人員については、従前から不足していると考えている。新型コロナウイルス感染症のような想定外の事態の可能性もある。人員増についての市の考えを聞きたい。</p>
事務局	<p>川越市が中核市になり保健所を設置して以降、保健師の人数は増やしてきているが、保健所の役割や県からの移譲事務の増加により、事務量が增大している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の関連業務については、保健予防課に保健所・保健センター内の人員を集中させ、その後、全庁からの応援体制も構築した。</p> <p>突発的な業務に対応できるよう、今後、人員部門に現状を伝えて、人員増を訴えていきたい。</p>
委員	<p>○多くの事業が第二次計画から第三次計画へ引き継がれているが、「社会参加への促進」で引き継がれなかった事業・指標について説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>「社会参加への促進」の事業は令和2年3月で終了したため、引き継がなかった。</p> <p>また、指標は集計方法が変わったため引き継がず、違う形で第三次計画に位置付けた。</p>
委員	<p>○特定健康診査は、実績が低かった。コロナの影響が考えられる。保健師のはたらきかけが重要な事業であるが、人員は足りているのか。また、新しい取り組み方を考えているのか。</p> <p>○今まで国は公立病院の統廃合を求めてきたが、コロナの影響を受け、役割・機能の最適化と連携強化へ方向転換したことに対し、市はどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>コロナの影響を受け、特定健康診査の受診率は下がっている。また、特定保健指導について、令和3年度は勧奨を対面から主に電話に切り替え、機会の確保に努め、令和3年度は令和2年度から比較して、実施率が微増した。</p> <p>これからも新しいやり方を検討していきたい。</p>
事務局	<p>公立病院の役割・機能の最適化と連携強化については、広域的な対応が必要であり、地域医療構想とも関連しながら埼玉県を中心に検討が進められている状況と認識している。</p> <p>川越市としては、県の動向を掴みながら市の役割を果たしていきたいと考えている。</p> <p>公衆衛生に関する保健所の業務は法定業務が多い。保健所の体制</p>

<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>整備については、業務量を見ながら整えていきたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○がん検診について、肺がん検診は特に受診者が少ない。個別検診にならないことが要因であると承知しているが、現在の検討状況を聞きたい。</p> </div> <p>肺がん検診の個別化については、昨年3月に事務レベルの相談で医師会に伺ったが、コロナ禍でその後は進められていない状況である。</p> <p>なお、他市に照会をかけるなどこれからという部分もあり、引き続き関係機関と協議していきたい。</p> <p>(3) 第三次川越市保健医療計画について</p> <p>① 第三次川越市保健医療計画策定方針及び今後のスケジュールについて</p> <p>事務局が、資料2-2、資料2-3に基づき説明。</p> <p>【説明に基づく質問・意見】</p> <p>(特になし)</p> <p>② 第1章～第4章</p> <p>事務局が、資料6、資料7に基づき説明。</p> <p>【説明に基づく質問・意見】</p> <p>(特になし)</p> <p>(休憩5分)</p> <p>③ 第5章 施策の推進</p> <p>事務局が、資料6、参考1、参考2に基づき説明。</p> <p>【説明に基づく質問・意見】</p>
<p>委員</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○「精神保健対策の推進」について、こころの健康問題には虐待やいじめ、過労死、コロナの後遺症によるうつ状態等様々な要素がある。市として縦割りではなく組織横断的な取り組みは考えているのか。</p> <p>○「救急医療体制の整備」について、救急車による搬送と自力で来院する患者の受入比率は、病院によってばらつきがある。救急医療は重症者をケアすべきと考えるが、適正利用の啓発について、もっと工夫し推進できないか。</p> <p>○「災害時医療体制の整備」について、埼玉医科大学総合医療セ</p> </div>

	<p>ンターは災害拠点病院になっているが、備蓄庫や非常用電気設備を整備した際に、国や県からの補助がなかった。</p> <p>施策・予算クロス表を見ても、この分野にあまり予算がついていないと感じる。</p> <p>川越市には市立病院がなく、市立病院を有する市と比較すると市の負担が軽いはずである。医療体制整備のため、もっと市内の病院を支援してほしい。</p> <p>○「国民健康保険制度の健全な運営」について、第三者行為は保険適用外である旨の記述が市ホームページ上にない。交通事故等の第三者行為の場合には、加害者側の保険を優先して使用すべきである。</p>
事務局	<p>精神保健については、虐待は児童相談所や庁内子ども部門と、いじめは教育指導課やリベアラと連携し、横断的に実際の業務にあたっている。</p> <p>また、悩みを一人で抱え込まず、まずは相談に踏み出してもらうために、小さな啓発用の幟を各施設に設置したり、相談先として保健予防課の電話番号をマグネットで公用車に掲示したりしている。</p> <p>今後も、横の連携を深めて課題に取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>救急車の出動は、昨年度49%が軽症者だった。今後さらに救急車の適正利用の普及を推進していきたい。</p> <p>救急車を呼ぶかどうかの救急電話相談の番号「#7119」が救急車に表示されている等疑問を感じる取組もあるが、効果的な広報に努めていきたい。</p>
事務局	<p>第三者への求償については、職員がレセプトを確認し、内容に第三者行為であるような疑いがあれば、加害者の保険を使うよう個別に連絡をしている。</p>
事務局	<p>災害時医療体制の施設整備について、国や県の補助があれば情報提供し、機会を捉えて県に伝えるなど、市としてできることがあればやっていきたい。</p> <p>防災関連の予算としては、防災危機管理室の消防費等もあり、連携して取り組んでいきたい。</p> <p>救急車の適正利用のPRについては、消防局と協議して検討したい。</p> <p>市内の病院への支援については、社会状況や国・県の動向を研究していきたい。</p> <p>④ 第6章計画の推進体制と進行管理 事務局が、資料6、資料8に基づき説明。</p> <p>【説明に基づく質問・意見】</p>

	<p>(特になし)</p> <p>⑤ 資料編 事務局が、資料6に基づき説明。</p>
委員	<p>○新型コロナの影響を加味しているとの説明があったが、どのような経過、どのような方向で加味されたのか、基礎資料や考え方がないと数値等の理解が難しい。こうした点についての記載があればと感じたが、考えをお聞きしたい。</p>
事務局	<p>新型コロナウイルス感染症に関連する施策としては、「1-1-1 保健衛生施設の機能充実」、「1-1-2 検査機能の充実」、「1-2-2 感染症予防対策の推進」、「2-1-1 予防接種の推進」などに、関連した取組を位置付けている。</p> <p>指標については、「第5章 施策の推進」の扉頁に「新型コロナウイルス感染症の影響を勘案し、基準値には原則として令和元年度実績値を用いる」と記載し、整理を行わせていただいた。</p>
委員	<p>○今の説明は理解したが、令和元年度と比較して、その後コロナの影響を受け、下がった数値を評価、分析し、この計画に反映することは難しかったのだと思う。コロナの影響を加味したというより、コロナ前の状況と比較しているものでしかない。計画素案の範囲では、そのような理解でよいと思うが、今後、社会がどう変化したかを時系列で把握しながら、様々な分析ができればと思う。</p> <p>今回、クロス表は前回の委員の意見を踏まえて作成したものと思うが、こうした努力を続けていただきたい。</p>
委員	<p>(4) 新型コロナウイルス感染症に係る川越市の状況について事務局が、資料1に基づき説明。</p> <p>【説明に基づく質問・意見】</p> <p>○川越市はコロナ対策をうまくやっていると感じている。資料にはないが、川越市は死亡者数の割合が少ない状況と思う。</p> <p>○今年3月の民間の調査データでは、埼玉県は人口100万人あたりの死亡者数が全国28位で、1位の大阪等に比べて非常に低くなっており、人口あたりの医師数等は全国最下位だが、コロナに対してはいい結果となっている。川越市も死亡者数のデータを出してはどうかと思う。</p> <p>○保健所の体制をみたが、市では総力戦で取り組んでいただいた。また、市内の医師会を中心とする医療機関の先生方の様々な協力によって成果が出されたと感じている。</p>

	<p>○今後については、現在感染が収まりつつあるところであるが、感染防止対策の啓発として、高齢者施設や保育園、学校関係等の感染対策を進められるとよい。</p> <p>○医療機関からの患者搬送を、途中から消防局が行っていたが、通常の救急患者の搬送もあり難しいと思うがどうか。県にも話をしたが、余裕がなかったようである。</p> <p>○川越市では、患者の感染経路不明の割合が低い。感染経路不明が多い他市では、保健所体制が崩壊していたとニュースになった。川越市が組織として現場を適切にサポートしているのだと思う。御礼申し上げる。</p> <p>○感染症の際には、実務者の会議を開いてはどうかと提案する。</p>
委員	<p>○先日、薬局から電話があり、コロナの陽性患者が処方箋を持ってきたとの相談があった。患者本人は直接薬局には来ないで、必ず電話してからくるようにと書いた紙を表に貼り出すなど、対応してはどうかと話をした。発熱外来を行う医療機関でも患者への説明が十分に行えない状況もあるようである。何か対応があれば考えてもらいたい。</p> <p>○マスコミの報道で、どこの薬局でも検査ができると間違った理解がされているので、直してもらいたい。</p>
委員	<p>○デルタ株の時には、酸素を必要としている患者の搬送の依頼があった。現在は救急車も感染対策の設備が整っているので、対応可能な範囲で搬送しており、他の搬送に影響がない範囲で保健所と連携しながら取り組んでいきたい</p> <p>○川越地区消防組合なので、県の保健所から川島町の患者について依頼があるが、扱いは同じである。</p>
事務局	<p>陽性者が薬局へ行ってしまうことについては、疫学調査の中で陽性者は家から出ないよう指示したり、オンラインで処方できるドクターや薬を配送してくれる薬局を紹介したりしているが、今後いっそう注意していく。</p> <p style="text-align: center;">(5) その他</p> <p>委員より、川越市保健推進員協議会 30 周年記念誌が配布された。</p> <p>6 閉会</p> <p style="text-align: center;">閉会 16 時 35 分</p>